

小郡地域おこし協力隊による
活動報告コラム。

no.02



まちと暮らしとシゴト。

あちこち
出没中!



宮本亜里沙

1989年生まれ。高校卒業後、地元熊本を離れ、東京で飲食店のイベント企画や舞台制作を経験。移住相談センターで小郡市職員と出会い、それをきっかけに小郡市の地域おこし協力隊に応募。夜は小郡市内酒場エリアに出没中!

小郡市地域おこし協力隊

here.is.ogori

小郡市地域おこし協力隊

日々の活動を
配信信中!

今年から参加している、小郡市が行う「SDM地域エスコートプログラム」。地域資源を生かしたまちづくりの企画を考える取組で、先日その報告会が行われました。私は市の魅力を体験する観光プログラムの創造に向け、これまで検討してきた企画案を発表。

すると、「料理ができるので、食の体験に生かせる」、「ヨガ講師なので、自然体験で生かせる」、「川が大好きでラフティング・インストラクターの経験がある。宝満川を生かしたアクティビティはどうだろうか」など、市民の皆さんそれぞれの得意分野を体験プログラムの中

でどう生かせるか、という点でさまざまなアイデアをいただくことができました。

こうした小郡の魅力ある「ひと」が活躍する機会、そして小郡ならではの「文化」が魅力的に伝わる場を、体験プログラムを通してたくさん作っていきたく考えています。「七夕の里」、「こだわりグルメ」、「気軽に味わえる大自然」をキーワードに、主催者も参加者もワクワクするようなプログラムの開発に取り組んでいきます!

活動内容はSNSなどでも発信していきますので、ぜひチェックしてみてくださいね。

体験プログラムを通して、小郡の中と外を結びたい



Ogostagram

日々の活動記録。
インスタグラム配信をピックアップ!



小郡の桜の名所のひとつ、御勢大霊石神社の逆さ桜。ライトアップされた桜が池に映し出され、とても幻想的です。写真は池に架かる太鼓橋から撮影。



3月23日に落成した旧松崎宿の旅籠油屋で、今後の活用方法などをヒアリング。恒例のひなまつりでは、昭和初期の貴重な「箱びな」も展示されていました。



陶芸家前田さんの取材で土カフェ (tuti-café) へ。モノ作りのこだわりは、カフェのカレーにもありました! 米は、カレーに合わせた無肥料無農薬米を使用。



松崎花壇部から周辺の学校の新一年生へ、甘鉄松崎駅前にメッセージを描きました! 駅に着くのを楽しみにしているとの声もいただき、楽しく活動しています★



小郡市在住の書家、平井雲嶺 (うんれい) 先生を取材。新元号「令和」の書は、「力強く新時代を生きていく!」という思いを込めて書かれたそうです。



癒しの光行チューリップ園を見学し、休耕田の活用方法を学びました。色ごとに違う花言葉が案内板で紹介されており、観賞時の楽しさも倍増!